

 本日の卓話

参議院議員 大野元裕様



「エネルギー情勢の現状と見通し」

1. 持続的な経済発展とエネルギーの安全を考える

(1) 石油価格下落の背景

①経済成長：中国等の不振？想定範囲内？

②石油をめぐる経済ファンダメンタルの下落

当初の油価格下落：米国を主とするシェールオイル、シェールガスの影響、コストが決して低くないが、生産地近傍で消費の優位性

シェールの新たな展開：業界再編、NGL 随伴シェールが5割を超える

(2) 石油価格が変わると？

下落：ガス価格等のエネルギー、原材料も下落

上昇：シェールが先に市場に出回る

(3) 中東の不安定は石油価格上昇に寄与しないのか

ファンダメンタルがオアナス要因を上回っている、イランの市場復帰と1000億ドルの凍結資金の行方

2. 日本のエネルギー事情

(1) なぜ、石油価格の下落がエネルギーの下落、国際競争強化にならないのか？

長期契約のガス価格、石油価格下落が国際競争の拡大につながっていない：円高・産業構造変化

(2) 3.11以降の挑戦と現下の経済情勢

エネルギー：量、価格、安全性、環境の複合的判断が必要

石油価格：エネルギー価格、原材料価格の指標、実質経済成長率(民主党政権時代が5.7%だったのに対し阿部政権下では2.4%)

3. 今後の国際エネルギー情勢

(1) 日本の国際エネルギー情勢

①電力自由化へ

電力自由化までに発送電間の協力ルールはできるか

②FIT見直しの必要性

安定供給、国際競争力に更なる不安要因

(2) 石油価格展望と日本

最大消費国米国はエネルギー消費構造転換に舵を切った、しばらくは供給過剰が持続も、日本の競争力に貢献するかは疑問

 プロフィール

- ・埼玉県川口市出身の52歳。
- ・埼玉選挙区選出参議院議員(1期)。
- ・元防衛大臣政務官、元内閣府大臣政務官。
- ・民主党「次の内閣」前防衛大臣。
- ・大学院卒業後、中東研究者に。複数の研究所に勤務。イラク、アラブ首長国連邦、ヨルダン、カタール、シリアの大使館勤務。湾岸戦争時にはとらえられていた日本人救出に尽力。2003年のイラク戦争前には、国会で「イラクは大量破壊兵器で他国に脅威を及ぼさない。開戦となれば、その後のイラクの混乱は長期化する。」と発言し、一石を投じる。中東調査会上席研究員を務めるかたわら、東京大学、青山学院大学、日本大学等で教鞭をとる。



参議院議員
大野 元裕様
卓話ありがとうございました

 ニコニコ報告

- 切通 勇次 大野先生卓話よろしくお願いします
- 今村 勲 大野先生卓話ありがとうございます
- 須田 清 大野先生ようこそお出でくださいました
- 武田 近 大野先生ようこそ
- 田中 一任 大野様ありがとうございます よろしく
お願いします
- 延島 三男 大野先生卓話ありがとうございます
- 藤原 忠雄 前日の国会での質問をTVで見ましたよかったですね頑張ってください
- 増田 徹 大野先生本日はよろしくお願いします
- 森田 康之 大野先生卓話楽しみにしています
- 山口久仁幸 大野先生今日はありがとうございます
- 盧 聖煥 大野先生山下様ようこそ！今日は卓話ありがとうございます
- 槇 孝夫 大野先生卓話よろしくお願いします

会 員	出 席	計算会員	M U	出席率	ニコニコ	合 計	累 計
21 名	12 名	20 名	4 枚	80.0%	12 口	16,000 円	608,000 円

